



東京支部 新役員新任のご挨拶

第16回東京支部総会で承認された支部長・副支部長・事務局長より、今後の抱負と会員の皆さまへのメッセージをお届けします。

総力を結集して

支部長 やまだ 山田 るり

このたび支部長として2期目を拝命することになりました山田です。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策に追われ、大変厳しい環境下での支部運営となりましたが、会員の皆さまのご理解やご協力に支えていただきましたことを感謝しております。支部の会員活動に参加して下さっている方々の、困難に屈しない強い意志や実行力を目の当たりにし、あらためて東京支部の人材が豊富なことや強みを実感しました。

東京支部の大切な人材である皆さまの専門性や強みを生かし、社会ニーズを捉えた継続的な活動を展開することで、産業カウンセラーの活躍の場を拡大していきたいと思っています。皆さまのお力をお借りしながら、新体制のもと総力を結集して「3年後にここまで進めたい」を目指して邁進してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

的確なパスワーク

副支部長 たけした 竹下 克司

2年前、この誌面で「私たち特有の専門力やコンサルティングマインドを広げ、社会でのポジションを高めましょう」と書きました。「ポジション」の語源は「所有、所持」、転じて現代サッカーが重視する「ボール支配率」。すなわち「的確に味方同士でパスをつなぎ試合を優位に進める」という考え方です。

これは各々の部門の特性や地域性の尊重を前提とした「連携」によって、「人材輩出」、「活躍の場の拡大」を目指す現中期計画に通じます。この1年半、私たちは感染症とのマッチアップを通じて次への強さを獲得しました。連携の一つの形である組織改編の効果を追求しながら、引き続き微力を尽くしてまいります。

積極的なご参加を！

副支部長 ふるやま 古山 恵子

副支部長として2期目を務めさせていただきます。新型コロナウイルス感染症を含めて、VUCA（変動・不確実・複雑・曖昧）の時代を実感する昨今ですが、そうした時代のニーズに即した支部活動が求められています。

東京支部会員の皆さま方は、さまざまな分野での活躍経験

や多様な知識・スキルをお持ちであると日頃から感じております。東京支部は広い活動フィールドを持ちますので、新たな取り組みのご提案を歓迎いたします。ぜひ、活動への積極的なご参加をお考えいただければと思います。

皆さまの支部活動が誰かの役に立ち、つながりが生まれ、皆さま方ご自身も活動からやりがいや充実感をお持ちくださる仕組みにしていきたいと考えます。そのために努力してまいる所存ですので、皆さまのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

変化を前進する力に変えて

副支部長 よしだ 吉田 千晶

変化が大きく先が見えづらい昨今は、不確かではありますがいろいろな可能性も広がる時代でもあります。このような時期だからこそ、変化を活かし柔軟な姿勢を持って前進していくことが大切だと感じます。

2期3年目を副支部長として迎え、これからの2年間も安定的に会員や一般の皆さまの研鑽・活躍の場を提供していくとともに、新しい組織編制を生かして、働く人々の心の支援をさらに果たせるよう、役割を務める所存です。

そのためには、会員の皆さまのお力も必要です。東京支部の活動にぜひ積極的にご参加いただけることを願っております。皆さまのさらなるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

静謐の祈り

事務局長 きのした 木下 毅

ご縁をいただき昨年11月に入職、本年6月より事務局長職を拝命しました。前職の職務経歴は主に人事総務です。入職以前に支部の活動に関わった経験がありませんので、この点でご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、新たな視野・視点で支部の活動を支える所存です。

任期中に実現したい事は2つあります。まずは事務局の職場環境改善。予算上の制約はありますが、できることから一つひとつ取り組んでまいります。

もう1つは、複雑な規程類の整備。恐らくは長い歴史の中で増改築を繰り返したことで縦横の位置づけが分かりにくくなっており、分かりやすく利用しやすい体系に改められればと思います。

2年間、お力添え下さい。